

この春、新たに開設された施設と  
運営開始をした事業をご紹介します!

2020年3月1日 優っくり村文京小日向が開所しました!



【施設概要】

施設名称	優っくり村文京小日向
所在地	東京都文京区小日向一丁目23番26 (丸の内線「茗荷谷」駅より徒歩5分)
事業概要	① 地域密着型特別養護老人ホーム 24床 ② 認知症高齢者グループホーム 18床 ③ 小規模多機能型居宅介護 (登録定員29人通い18人、宿泊9人)

2020年4月1日  
「目黒区中央包括支援センター」運営開始



【施設概要】

施設名称	中央包括支援センター
所在地	東京都目黒区中央町2-9-13 食販ビル2階
開設時間	月曜～土曜 8時30分～19時(土曜日は17時まで)
休館日	日曜、祝日、12/29～1/3
業務内容	包括的支援事業、介護予防・ 日常生活支援総合事業

2020年4月1日  
「目黒区東部包括支援センター」運営開始



【施設概要】

施設名称	東部包括支援センター
所在地	東京都目黒区上目黒2-19-15 目黒区総合庁舎1階
開設時間	月曜～土曜 8時30分～19時(土曜日は17時まで)
休館日	日曜、祝日、12/29～1/3
業務内容	包括的支援事業、介護予防・ 日常生活支援総合事業

2020年4月1日  
「荒川区立荒川老人福祉センター」指定管理開始



【施設概要】

施設名称	荒川区立荒川老人福祉センター
所在地	東京都荒川区荒川1-34-6
開設時間	月曜～土曜 9時～17時
休館日	日曜、祝日(敬老の日を除く)、12/29～1/3
業務内容	介護予防事業、文化教養事業、 公開講座、各種行事など

2020年4月1日「荒川区立荒川東部  
在宅高齢者通所サービスセンター」指定管理開始



【施設概要】

施設名称	荒川区立荒川東部 在宅高齢者通所サービスセンター
所在地	東京都荒川区荒川1-34-6
開設時間	月曜～土曜 8時30分～18時30分
休館日	日曜、12/30～1/3
業務内容	通所介護、介護予防・ 日常生活支援総合事業など

フォーユー新聞 2020 April Vol.11 2020 4月1日発行  
社会福祉法人 奉優会(ぼとゆうかい) 法人事務局 154-0012 東京都世田谷区駒沢1丁目4番15号 真井ビル5階  
TEL:03-5712-3770 FAX:03-5712-3771 https://www.foryou.or.jp/



安心で豊かな福祉サービスをあなたに。

— Vol.11 —

# フォーユー新聞

HOYOUKAI

2020 April

## 認知症になっても自分らしく生きる

社会福祉法人 理事長 香取 眞恵子

認知症は加齢に伴い誰がなっても不思議ではないという理解が広く浸透され始めております。この度、政府として2019年6月に、認知症政策を社会全体として一体的に推進するための「認知症政策推進大綱」が策定されました。

基本的な考え方は「認知症はだれもがなりうるものであり、発症を遅らせ、認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる社会を目指して、本人や家族の視点を重視しながら、『共生』と『予防』を両輪として政策を推進していく」というものです。

生活上の困難が生じた場合でも、重症化を予防しつつ、地域の理解と協力を得ながら本人が希望を持って前を向き、力を活かしていくことで住み慣れた地域で尊厳が守られ、自分らしく暮らし続けることが出来る社会を目指すということです。

大綱で共生が打ち出されたことで初めて認知症と共に生きていける超高齢社会を目指す国として、スタートラインに立ちました。

大綱では具体的な施策の1つとして「普及啓発・本人発信支援」を掲げたことに注目してください。

永田久美子先生(認知症介護研究・研修東京センター研究部長)は、医療、介護もとても重要だが、認知症の初期から最後まで本人がより良く暮らすためには、地域の人の支えあいと専門職の取り組みをどう融合していけるかが今後の「カギ」。その融合の起点となるのが本人の声であり、その点からも本人発信支援に力を入れていくことが重要とのことです。

もう1つとして掲げられた「認知症バリアフリーの推進」も本人の声、本人の視点がなければ実現できません。

認知症の方の社会参加も非常に重要で、基本原則で言えば本人のなじみの生活継続が大事です。例えば、ゆったり過ごせる行きつけのカフェが本人と住民との「出会いの場」になり、または地域の中のなじみの場所で本人とともに社会参加活動を増やしていくことが期待されています。

奉優会では、このようなことを背景に、より一層、社会参加活動に力をいれ、認知症の方も地域の方と親しく交流して、自信を持って自分らしく暮らせたらと願っております。



問合せ先 社会福祉法人 奉優会ホームページ  
<https://www.foryou.or.jp/>

# 第12回事例研究発表会 受賞事例の紹介

奉優会では活力ある人材育成のため、毎年「事例研究発表会」等の表彰を実施しています。今年度(2019年度)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため無観客にてTV会議システムとYou Tubeを同時配信し開催しました。今号では表彰された上位4事例をご紹介します。



当日の様子

## 1 最優秀賞

### ハイドレーションシステム ~命を繋ぐ水~

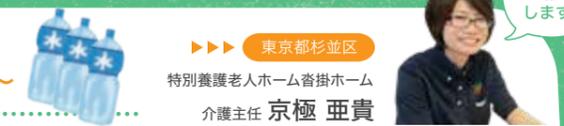
#### ■ 医師と連携し、ご入居一人ひとりに合わせた積極的保水システムを導入

**経緯** 本システム導入以前は、ご入居者一律に1日水分摂取量1200ccを目標とし、水分摂取を促してきました。しかし、加齢に伴い水分の必要量も減少される方や既往歴に心不全・腎不全をお持ちの方も多く、かえってお身体に負担を掛けてしまうことも…。

**実践** そこでご入居者ひとり一人の体重や疾病に合わせた個々の水分必要量を割り出し、できるだけご負担なく水分摂取できる仕組み「ハイドレーションシステム」を構築し、取り組んできました。特に経口摂取困難時の課題解決のために取り入れた『皮下点滴』は静脈点滴と比べ苦痛が少なく、また、その人の体が必要としている水分のみ吸収されるため、多くの方が回復されています。

**成果** 施設全体でも入院日数を約40%減らすことができました。これからも、全てのご入居者が最期の時まで穏やかに過ごしていただけるよう、取り組んでまいります。

ご入居者M様の事例	お看取りからの状態回復
12/27 胆管炎にて退院後、嘔吐、痰絡み、発熱などを繰り返し食事は5割〜7割程度のみ	
6/10 肺炎症状も併発し、食事、水分とも経口摂取できず・ご家族様も看取りを覚悟される	
6/14 皮下点滴開始(KN3B500ml+生食100ml+ロセフィン1g) 皮下点滴中も水分は誤嚥しないよう無理せず継続	
6/26 肺炎症状改善、食事も回復、水分(1日トータル平均818cc)食事も、水分量増加、皮下点滴終了	
7/9 医師より体調良好と言われ、看取りから状態が回復!!食事も7割以上、水分量(1日トータル平均1150cc)	



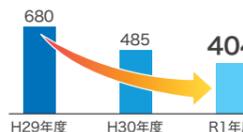
私  
が  
ご  
報  
告  
し  
ま  
す!

東京都杉並区  
特別養護老人ホーム香掛ホーム  
介護主任 京極 亜貴

#### ~経口での水分摂取ができない場合~ 皮下点滴のメリット

- 皮下注射なので高齢で血管壁の弾力がない方も苦痛が少ないまま開始可能。
- 自己抜去されたとしても出血は一切なし。
- 注入されたあと、その人の体が欲している分だけ吸収され、漏れることも腫れることもなし。
- 終了してそのままでもへパロック不要。
- ご家族が看取りか延命かの急な決断にもならない。

【香掛ホームご入居者入院日数】



H29▶R1  
入院日数が  
約40%減少

※各年度4~12月  
合計値を比較

## 2 優秀賞

### くっかけTRY!食べるを支える専門職+

#### ■ ジェントルスティムによる最新の嚥下訓練

##### 長く美味しく食べてほしい

特養では経口摂取が出来なくなってから看取り期への移行が早い傾向にあります。「食べられるうちに何が出来るのか」を課題に捉え、往診歯科医師とともに「口腔ケア」と新たな取り組み「ジェントルスティム」の導入にトライしました。

#### 2019年8月からジェントルスティム15分及び丁寧な口腔ケアを週1回実施

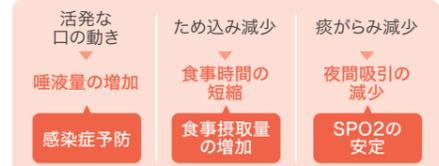
##### ■ 実践例① I様の場合

口が動かし、嚥下困難でしたが訓練開始後舌が動くようになり唾液量も増加。飲み込む機能が改善し、発熱日数の減少により体重維持、栄養改善褥瘡改善につながりました。



##### ■ 実践例② H様の場合

嚥下機能が改善し、減らしていた食事を増やす事ができ、頻回だった夜間吸引回数も減り、他の利用者様にも開眼時間の増加体動の増加、発語の増加など見られています。



6週目から  
効果が!

東京都杉並区  
特別養護老人ホーム香掛ホーム  
管理栄養士 千代原 智美

私  
が  
ご  
報  
告  
し  
ま  
す!

#### ジェントルスティムとは

干渉波電気刺激療法に使われる医療機器の製品名です。体内で異なる周波数を交差させ、幹部にその周波数の差に相当する、低い干渉電流の刺激を利用して行う装置です。干渉波は皮膚抵抗が少なく低周波と違いビリビリした痛みがなく副作用もありません。筋肉ではなく神経を直接刺激し嚥下反射や咳反射の能力を向上させます。

#### 長く美味しく食べるには…

飲み込むには嚥下反射。誤嚥を防ぐには咳反射の維持が必要です。適切な口腔ケアと嚥下訓練を行い、長く美味しく食べて頂き、充実した生活を送れるよう支援しています。

吉祥寺ハイツ歯科医院  
歯科医師 吉田先生



ジェントルスティムを活用した干渉波電気刺激療法の成果は…  
**感覚神経への刺激により喉の感覚が賦活化し、嚥下機能が向上しました!**



## 3 理事長賞

### 地域医療連携 2年目に見えてきたこと

~ご利用者様の代弁者になる為に~

#### ■ 看取りの出来るデイとして、『もしもの為の話し合い』を地域社会全体に発信し在宅メンバーの絆を深める

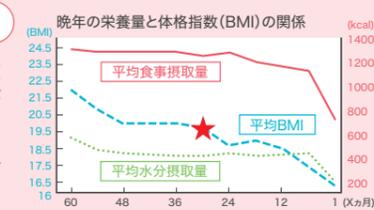
地域医療連携を深めていく過程で、終末期を自分の望む場所で過ごせない現実がある事を実感しました。私たちに何が出来るのか?地域の方々の豊かな看取りを実現すべく、看取りまでサポートするデイとして、『お看取りトライアングル作戦2019』を実践しました。

#### お看取りトライアングル作戦2019

- 訪問医導入
- 急変時のシミュレーションでサポート強化
- 知る: 看取りの理想と現実の乖離
- 備える: 体制さえ整えば自宅で看取りは可能
- 地域社会で豊かな看取りの選択肢を増やせるように知を結集させる

#### 異常の早期発見を共通認識に

- ADLの変化なしで、3か月連続の体重減少(★)は、その後に急変リスクが高まり早期介入が必要。
- 認知症により、フレイルの進行は3~4倍になる。



#### ■ 地域連携ACP勉強会の開催「縁起でもない話をもっと身近に」

参加者 医療・介護従事者 職種や年齢を超えて、個々のストーリーに耳を傾けながら、最後の時をどう過ごしたいのか、語りの中で自分の想いを発見していく。

東京都練馬区  
港区立高齢者  
在宅サービスセンター白金の森  
看護師 高橋 千里



#### 在宅で豊かな看取りを実現

当事業所のご利用者A様(89歳・要介護5)の事例です。A様の医療が限界を迎え、ご家族が、延命治療の有無の選択を委ねられ精神的な負担を感じられていました。ご本人やご家族・医療従事者と『自己決定』から『共同決定』へ向けた対話を繰り返し、ご本人やご家族が、ご満足頂ける看取りに繋がりました。退院後に、ご本人の意志を尊重し、経鼻チューブを外し、念願のアイスやうな重を召し上がって頂きました。その結果、ご家族より『住み慣れた家で最後の時を送る事は、不可能ではない、看取りの体験は家族の宝物』と体験談を頂きました。



#### ■ ご家族の紡ぎだされた看取りのストーリーを丸ごと支える。

デイのご利用がない時でも、元気な時から関わってきたデイ職員が自宅訪問を繰り返し、ご家族の揺れ動く心を傾聴して肯定する事が看取りの支えになります。これからも豊かな看取りを広げる活動を続けながら、地域医療連携の先頭に立っていきます。

私  
が  
ご  
報  
告  
し  
ま  
す!

東京都江東区  
城東ふれあいセンター  
館長 瀬藤 尚文



## 4 常務理事賞

### 2018JOTOコレクション ~輝く人・場所・地域づくりの物語~

#### ■ 社会福祉×ファッションショー開催で社会的新価値の創造

私たちが開催した「2018JOTOコレクション」は、年齢、性別、国籍、障害の有無等に関わらず、誰もが輝くことのできるユニバーサルファッションショーです。本イベントの開催を通じ、人が輝き、地域で暮らす様々な人が集まる場所となり、地域との連携を深め、新たな社会的価値を創造しようと考えました。(人)・(場所)・(地域)、これらを最大限に活かすことで、地域全体が活性化し、地域で暮らす人々が輝き、活躍できる社会を創ることに挑戦しました。2018JOTOコレクションは、年齢、性別、国籍、障害の有無などを超え、参加したすべての人々が輝き、楽しめるユニバーサル交流イベントとなりました。今後は、江東区にとどまらず他地域にも広げ、社会的新価値の創造を行います。だれもが主役になってともに創るしあわせをさらに広げていきます。

**人** 高齢者だけでなく子どもから障害のある方や認知症の方、インターナショナルスクールの学生さんなど、様々な方に出演を募り、下は6歳から上は93歳の方まで、計128名の方がモデルとして出演されました。出演された方はもちろんのこと、観に来られた方もショーを裏方で手伝われた方も皆さま笑顔になられ、参加者全員が輝いた一日となりました。

**場所** 開催当日の来場者数は1,333名にものぼり、当センターの通常開館日の約7倍の来館者数となりました。ファッションショーというイベントを通して、当センターに多くの方が集い、地域で暮らす様々な人がつながる場所をつくることができました。

**地域** 本イベント開催にあたっては、地域の皆様協力なしには開催できなかったと思います。地元企業、商店街、教育機関、福祉施設、町会等、合計18団体にご協力いただき、地域全体で盛り上げていただきました。

#### INTERVIEW インタビュー

##### 【モデル出演者M様】

職員さんに誘ってもらって本当に良かったです。この年齢でこんなにきれいなドレスを着ることができてなんて夢にも思わなかったです。たくさんの人の笑顔に囲まれ、とてもいい思い出になりました。



#### 地域連携の充実

##### 18団体の協力

- ・障害者就労支援施設
- ・地元結婚式
- ・服飾専門学校
- ・美容専門学校
- ・化粧品メーカー
- ・洋品店
- ・地元商店街
- ・地元町会、自治会、老人会
- ・江東区ケーブルテレビ
- ・ウィッグ業者 など